

第11回遠州広域行政推進会議 次第

日 時：平成28年7月11日（月）
午後3時から午後5時まで
場 所：掛川市役所本庁舎5階
議員全員協議会室

1 開 会

2 座長あいさつ

3 開催市長あいさつ

4 報告事項

- (1) 広域連携による文化財の保護と活用について（最終報告）
- (2) 健康寿命の延伸に向けた連携について（最終報告）
- (3) 地方創生に向けたRESASの活用について（勉強会報告）

5 議 題

地域資源を活かした広域観光の推進について

6 その他

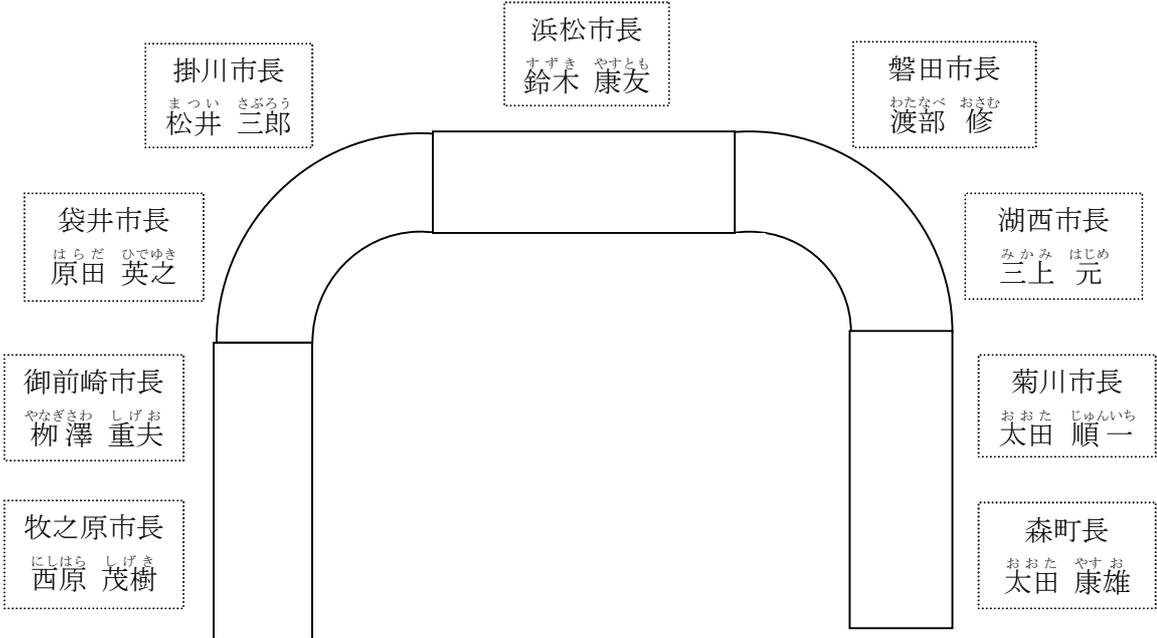
7 閉 会

第11回遠州広域行政推進会議（7/11）出席者

市 町	出席者	
浜松市	市長	鈴木 康友
磐田市	市長	渡部 修
掛川市	市長	松井 三郎
袋井市	市長	原田 英之
湖西市	市長	三上 元
御前崎市	市長	柳澤 重夫
菊川市	市長	太田 順一
牧之原市	市長	西原 茂樹
森町	町長	太田 康雄

第 11 回遠州広域行政推進会議 座席表

掛川市役所本庁舎 5階
議員全員協議会室



	事務局席	

報道席

	随行者席		事務局席

出入口

第 11 回

遠州広域行政推進会議

会議資料

開催日：平成 28 年 7 月 11 日(月)

開催地：掛川市

会議資料

・資料 1-1	広域連携による文化財の保護と活用について	1
・資料 1-2	「遠江の今川氏」パネル	3
・資料 1-3	「遠江の祭礼と民族行事」パネル	11
・資料 2-1	健康寿命の延伸に向けた連携について	17
・資料 2-2	介護予防の取り組みと広域連携について	19
・資料 2-3	お茶の効能等にかかる既存研究	25
・資料 2-4	平成28年度の静岡県等の主な取組	27
・資料 2-4 (別紙)	新聞記事	29
・資料 3	地方創生に向けたRESASの活用について	35
・資料 4-1	議題 「地域資源を活かした広域観光の推進について」	37
・資料 4-2	議題に関する各市町取組調査票	39
・資料 4-3	各市町チラシ等	別添

広域連携による文化財の保護と活用について（最終報告）

1. 趣旨

文化財に関する施策では、従来のように保護するだけでなく、公開・活用することが求められる。昨年度から募集が始まった文化庁の「日本遺産」認定制度も文化財を国内外に広く紹介し、広域で連携して観光・地域振興にもつなげることをめざしている。文化財保護行政において、遠州広域に共通するテーマを設定し、各市町が連携した公開事業を開催できるか研究する。

2. 体制

日本遺産については、三遠南信連携等、既存の枠組みを活用する。
また、「遠江歴史文化ネットワーク」を活用する。

3. 研究内容

- ①各市町に所在する幅広い文化財について、遠州広域に共通するテーマの設定（文化財の種別や関係する人物など）及びその公開にかかる連携事業の検討
- ②史跡等へのアクセスを向上するための広域連携事業の検討

4. スケジュール等

- | | |
|-------------------|---|
| 平成 27 年 7 月 9 日 | 第 9 回遠州広域行政推進会議(会場:浜松市)にて検討開始。 |
| 8 月 27 日 | 遠江歴史文化ネットワーク幹事市(磐田市・浜松市)が調整。 |
| 9 月 3 日 | 遠江歴史文化ネットワーク会議(会場:浜松市)にて提案、了承。
共通テーマを「遠江の今川氏」として各市町に素材提出を依頼。 |
| 10 月 5 日 | 提出期限。以後、文化財パネルの作成。12 月から展示開始。 |
| 11 月 5 日 | 第 10 回遠州広域行政推進会議(会場:磐田市)にて中間報告。 |
| 12 月 14 日 | 家康公四百年祭クロージングイベント(浜松市)に出陳。
御前崎市・掛川市で関連展示を開催。 |
| 平成 28 年 1 月 1 日 | (～8 日)FM Haro!主催、プレ葉ウォーク開催イベントに出陳。 |
| 2 月 15 日 | 三遠南信サミット(豊橋市)で、 日本遺産申請を宣言 。
同会場にて「祭礼と民俗行事」を展示。 |
| 5 月 21 日～7 月 18 日 | 共催パネル展「遠江の今川氏」(会場:浜松市博物館) |
| 4 月以降 | 新たなテーマで広域連携を継続。「街道」・「産業遺産」等。 |

5. 今後の連携取組等

- ①遠州広域の共通テーマに関するパネルの巡回展を引き続き開催する。
- ②三遠南信の無形民俗を日本遺産に申請する。※H29. 2 に申請、H29. 4 の認定を目指す。
〔マップやルート設定を申請と合わせて協議し、認定に合わせた実現を図る。〕
〔動画は各市町で制作済、日本遺産の認定を機に広域での編集を検討。〕

【参考：遠江歴史文化ネットワークの実績】

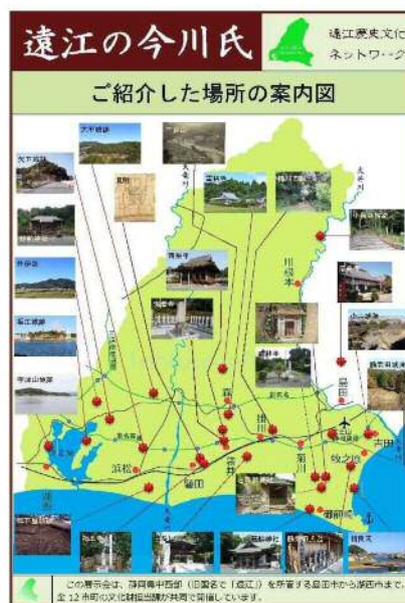
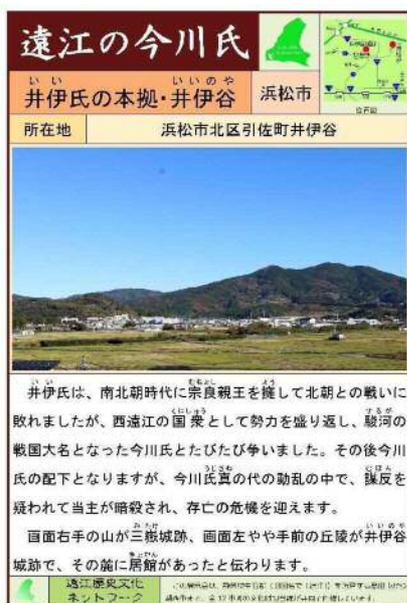
平成 20 年度(2008)から、静岡県西部を所管している全 12 市町の歴史系展示施設や文化財普及担当課が連携して、遠江の歴史や文化の情報を紹介する事業を開始。

＜参考＞遠江歴史文化ネットワーク参加市町

湖西市	浜松市	磐田市	袋井市	掛川市	森町
菊川市	御前崎市	牧之原市	島田市	吉田町	川根本町

平成 21 年度から、参加する市町に共通するテーマを設けて情報を持ち寄り、パネルを製作して巡回展を開催してきた。また、同様の仕様で解説文を印刷して配布。

年度	(年)	テーマ
平成 21 年度	2009	「遠江の歴史的建造物 ～近代編～」
平成 22 年度	2010	「遠江のやきもの」
平成 23 年度	2011	「遠江の伝説と秘話」
平成 24 年度	2012	「遠江の祭礼と民俗行事」
平成 25 年度	2013	「わが町自慢の史跡」
平成 26 年度	2014	「家康の名所・旧跡・伝説の地」
平成 27 年度	2015	「遠江の今川氏（戦国武将ゆかりの地）」★H29 大河関連
平成 28 年度	2016	「遠江の今川氏」を巡回。「街道」「産業遺産」等を検討。



共通ロゴマーク

平成 27 年度「遠江の今川氏」のパネル例

遠江の今川氏



遠江歴史文化
ネットワーク

市町共催パネル展開催の趣旨

平成 20 年度から、静岡県中西部、旧国名でいう「遠江」を所管する 12 市町の文化財と博物館の担当部局が協力して、遠江の文化財を紹介する「遠江歴史文化ネットワーク」を結成しています。毎年、担当者が共通するテーマを設定して、わが町の歴史や文化を写真パネルでご紹介し、各市町を巡回しています。

今回は、東海の戦国時代を一時は手中に収めた今川氏をテーマにしました。駿河を本拠とした戦国大名今川氏は、遠江・三河も領国とし、遠江の国衆を配下に置きました。各市町に足跡を残した今川氏歴代と、今川氏にかかわりが深い遠江の武将たちゆかりの地をご紹介します。

遠江歴史文化ネットワークを構成しているのは、以下の 12 市町です。
湖西市／浜松市／磐田市／周智郡森町／袋井市／掛川市／菊川市／御前崎市／榛原郡川根本町／島田市／牧之原市／榛原郡吉田町

遠江の今川氏



遠江歴史文化
ネットワーク

いまがわし 今川氏の系図



```

    graph TD
      A[範国 南北朝の動乱  
駿河遠江守護] --> B[貞世 (了俊)]
      A --> C[範氏 駿河守護]
      B --> D[貞臣 (義範)]
      C --> E[泰範 駿河遠江守護]
      D --> F[真相]
      E --> G[範政 守護大名]
      G --> H[範忠]
      H --> I[義忠 応仁の乱]
      I --> J[氏親 戦国大名]
      K[寿桂尼] --- J
      J --> L[義元]
      J --> M[氏輝]
      L --> N[氏真 高家]
    
```

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全 12 市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏




しおかいざか しょうりんじ
塩買坂と正林寺 (今川義忠の墓)

菊川市

所在地 菊川市高橋 4 9 7 (正林寺)





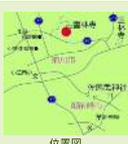
文明 8 年(1476)※、横地氏を攻めた今川義忠は駿河へ帰る途中、塩買坂で横地氏の残党の襲撃を受け、その時に負った傷がもとで戦死してしまっています。義忠の子・氏親は父の死後から 40 年以上たった永正 17 年(1517)に遠江を平定し、塩買坂に昌桂寺 (後の正林寺) を建立しました。

※義忠の没年については諸説あります。

遠江歴史文化
ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全 12 市町の文化財担当課が共同で開催しています。

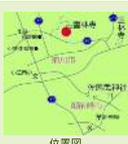
遠江の今川氏

うじざね たなくさ
氏真と棚草用水

菊川市

所在地 菊川市棚草 (雲林寺)





菊川市棚草の雲林寺の東の丘陵に「本城様」や「今川様」と呼ばれる祠があり、今も残る棚草用水の守り神として地域の人々が今川氏真を祀っています。また、棚草地区には永禄 9 年(1566)に氏真が棚草の宇津梨山や用水などについて朝比奈孫十郎に安堵(＝所有を認めること)した古文書も伝わっています。

遠江歴史文化
ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全 12 市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

うづやま
宇津山城跡と浜名湖

湖西市



位置図

所在地	湖西市入出（いりで）
-----	------------



宇津山城跡は、浜名湖を北西部より見渡せる正太鼻（岬）にあります。今川氏の三河侵攻の拠点として、今川氏親（今川義元の父）によって永正から大永年間（1504～1526）頃に築城されました。永禄11年（1568）、徳川家康の遠江侵攻によって落城し、以後、元龜3年（1572）三方ヶ原の戦い頃まで徳川一族が城主となっています。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

さまたけ
左馬武神社と新野左馬助

にいのさまのすけ
御前崎市



位置図

所在地	御前崎市新野字宮田
-----	-----------



左馬武神社には、戦国時代に今川氏の一族として遠江国新野の地を治めていた新野左馬助親矩が祀られています。

親矩は桶狭間の戦いで義元が討ち死にした後、家臣の離反が相次ぐ中でも忠義を尽くしました。また、永禄5年（1562）に縁戚であった井伊直親が暗殺された際に、遺児の直政を保護し、井伊家の危機を救ったことでも有名です。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

たかまつ
高松神社と今川氏

いまがわ
御前崎市



位置図

所在地	御前崎市門屋 2068 番地
-----	----------------



高松神社は中世期に「笠原荘 一宮高松社」として広く信仰を集めた神社です。高松神社の神主を代々務める中山家には、今川範忠やその孫の氏親が高松社の取り込みをはかるため、それまで課していた諸公事を免除する代わりに、神事祭祀をしっかりとやるように命じた古文書などが残っています。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

さだよりょうしゆん いどころ
今川貞世（了俊）居所

森町



位置図

所在地	周智郡森町中川（旧中田村丸ノ内・雲林寺）
-----	----------------------



今川貞世（了俊）が九州探題を解任された後、遠江に帰参して最初に住んだ所が「中田」です。遠江に3箇所ある中田という地名の内、後に本拠とした堀越（現袋井市内）との位置関係や本領との関係から考えると、父範国所領の谷川郷に隣接する森町中川（旧中田村）の大洞院六門雲林寺の門前、字丸ノ内の辺りであったと推察されます。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

のりくに だいかん
今川範国の所領と代官屋敷 森町



所在地	周智郡森町谷中（旧谷川村）
-----	---------------



建武4年（1337）、今川範国は勲功により足利尊氏から駿河国葉梨荘と当国遠江国河合郷・谷川郷を領地されました。森町谷中の朝比奈弥太夫家は、かつて四面を土塁が囲む館跡で、河合郷内とみられる米倉城とともに範国支配の代官所が置かれた所だと推測されています。写真は、遺構や資料をもとに、館と熊野三所権現を描いたものです。



遠江歴史文化ネットワーク

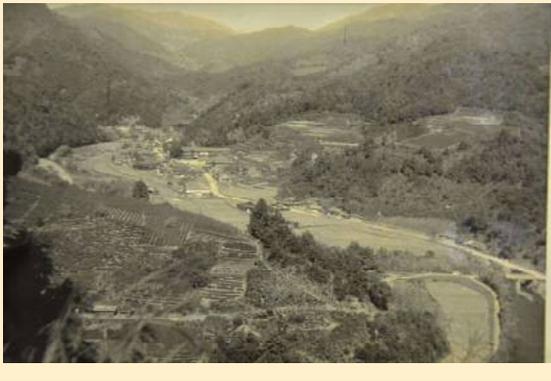
この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

のりくに
今川範国が陣取った三倉山 森町



所在地	周智郡森町三倉（三倉山城）
-----	---------------



『難太平記』によれば、建武4年（1337）今川範国は北軍に属して三倉山に陣取りました。その場所は不明ですが、南朝方・天野氏と対峙したと考えられることから、三丸山付近の田能・大久保村あたりかと推測されます。この年、同国谷川郷・河合郷を恩賞の地としていることから見て、三倉での南朝方との緊張が高まったものと思われます。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

こながや
小長谷城址 川根本町



所在地	川根本町東藤川、上原
-----	------------



駿河から遠江、また甲斐へと抜ける交通の要衝に築かれた山城です。その地勢から、城主の小長井（小長谷）氏は最初は今川氏に、後には武田氏に属したようです。天王山城とも呼ばれました。海抜は360m、北側の小長井集落には、かつて領主の居館があったと伝わります。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

いまがわりようしゅん かいぞうじ
今川了俊と海蔵寺 袋井市



所在地	袋井市堀越
-----	-------



今川了俊（俗名貞世）は駿河守護範国の次男で、足利幕府の侍所長、九州探題の要職を務めた武将です。応永2年（1395）讒言により九州探題の職を解かれ、駿河半国を与えられ海蔵寺付近にあった館に住んでいたため、遠江今川氏とも言われています。海蔵寺の墓地には、三百三十三回忌の年と思われる寛延2年（1749）造塔の供養塔があります。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

さいらくじ
今川氏と西楽寺

袋井市



位置図

所在地 袋井市春岡



西楽寺は神亀元年（724）聖武天皇の勅願により行基が開基したと伝えられる真言宗の古刹です。平安時代末期の阿弥陀三尊（静岡県指定文化財）を本尊としています。

戦国時代になると、今川氏の祈願所として重きをなしました。今川義元や氏真の寺領安堵状など5通が残されており、義元時代から当地の支配が安定したことがわかります。

遠江歴史文化
ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

はったさん
今川氏と法多山

袋井市



位置図

所在地 袋井市豊沢



法多山は神亀元年（724）聖武天皇の勅願により行基が開基し、聖観音菩薩を本尊とする真言宗の古刹です。

寺には今川氏親、氏輝、義元、氏真という戦国時代における歴代今川氏当主の寺領安堵状のすべて残されていることから、遠江の寺院のなかでは義元時代以前より、たいへん重要視されていたことがわかります。

遠江歴史文化
ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

しょううんざんけいじゅじ
祥雲山慶寿寺

島田市



位置図

所在地 島田市大草



真言宗泉涌寺派の古刹です。南北朝時代、足利尊氏から駿河守護に任ぜられた今川範國の子、今川範氏は大草に居館を移し、その近くに菩提寺として慶寿寺を建立したといわれています。慶寿寺には、今川範氏お手植えと伝えられる「枝垂桜」や今川義元、今川氏真ゆかりの古文書、今川氏歴代の墓等が伝えられています。

遠江歴史文化
ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

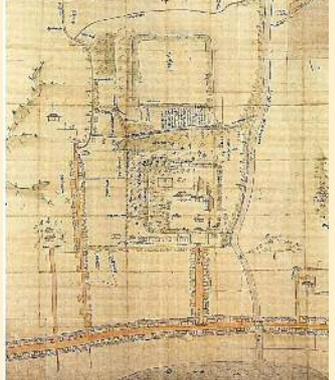
みつけ
今川支配と自治都市「見付」

磐田市



位置図

所在地 磐田市見付



だいけんじ
大見寺絵図

江戸時代に描かれたこの絵図には、見付支配のために築かれた城館、見付端城が描かれています。今川氏もこの地で政務をとっていました。

国府が置かれた磐田市見付は、東海道の宿駅としても繁栄し、戦国期になると町人による自治が行われました。天文10年(1541)に今川義元が発行した朱印状には「見付府之事、右年貢百貫文、相定之処、以五拾貫文之増分、百姓職訴申之間、停止代官、一円了掌畢」とあり、年貢を50貫文増やす代わりに代官支配を停止させたことが記されています。

遠江歴史文化
ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

のりくにもんじよ
今川範国の文書

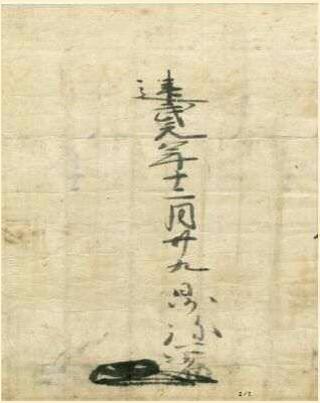
磐田市



位置図

所在地 **磐田市内**

建武元年十二月二十九日
建武元年は一三三四年。
沙弥心省(花押)
「心省」は今川範国の法名。
「沙弥」は出家した人。



秋鹿家文書・今川範国奉免状

中泉にある秋鹿家は代々府八幡宮の神官を務め、近隣の代官を兼ねていました。徳川家康に命じられて御殿の地を献上するなど、数々の言い伝えが残る磐田市きっての名家です。
秋鹿家に残る今川家第3代当主・範国の書状は、市内に残る最古の文書としてたいへん貴重なものです。

遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部(旧国名で「遠江」)を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

のりくに
今川範国墓所

磐田市



位置図

所在地 **磐田市城之崎**



今川範国の墓



福王寺

今川範国は、足利家の分家で今川基氏の五男として生まれました。南北朝時代 駿河・遠江の守護大名を兼ね、今川氏の基礎を築いた人物です。生まれながらにして学問と武芸にたけた人物であり、武家の作法や習わしにくわしく弓術に優れていました。
至徳元年(1384)5月19日に87歳(の高齢)で世を去り、福王寺の墓地の一隅に安らかに眠っています。

遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部(旧国名で「遠江」)を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

かけがわこじょう
掛川古城跡

掛川市



位置図

所在地 **掛川市掛川**





主郭にある家光の霊廟

大堀切

今川義忠が、重臣の朝比奈泰熙に命じて築きました。永禄五年(1562)には、朝比奈泰朝が今川氏真への謀反を疑われてた井伊直親を掛川城下で殺害しています。永禄十一年(1569)武田信玄が駿河に侵攻すると、今川氏真是泰朝を頼って掛川に籠城しますが、徳川家康との交渉で開城して落ち延び、今川氏の領国支配は終わりをつけました。現在、主郭には、江戸時代に建てられた徳川家光をまつる霊廟があります。

遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部(旧国名で「遠江」)を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

こやま
小山城跡

吉田町



位置図

所在地 **榛原郡吉田町片岡**



駿河を領有し戦国大名となった今川氏が、遠江攻略のための砦を築いたのがその始まりです。今川氏真の代に弱体化した今川領のうち、駿河にいち早く侵攻した武田信玄が、徳川家康の抑えた遠江をうかがうために、城を築きました。現在の天守閣は、犬山城をモデルに新設した観光施設です。

遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部(旧国名で「遠江」)を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

かつまた
勝間田城跡

牧之原市



位置図

所在地 牧之原市勝田



鎌倉幕府御家人として活躍した勝間田（勝田）氏が、本拠とする勝田荘に築いた城です。遠江に侵攻した今川義忠によって同族だった横地氏の横地城とともに落城し、勝間田氏は富士山麓に落ち延びました。

なお、今川義忠はこの戦いの帰りに横地氏の残党によって殺され、駿遠の情勢は一挙に混とんとなりました。文明八年(1476)のことと伝わります。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

かつまたし はか
勝間田氏の墓

牧之原市



位置図

所在地 牧之原市道場 68（清浄寺境内）



勝間田氏は、井伊氏や横地氏と並んで遠江に勢力を誇った武士団です。勝間田荘（勝間田川流域）を拠点に活躍しましたが、遠江進出を図った今川義忠と対立すると、居城・勝間田城を落とされて衰退してしまいました。

清浄寺には、勝間田氏の墓と伝えられる石塔群が残り、市の文化財に指定されています。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

さがらみなと
相良湊

牧之原市



位置図

所在地 牧之原市相良（萩間川河口・港橋付近）



萩間川河口にあった相良湊は、古くから海上交通の要所として注目され、江戸時代には田沼意次侯の港町・城下町としてたいへん栄えました。

相良湊の最も古い記録は、天文18（1549）年に発給された今川義元の書状です。平田寺に伝わったもので、野菜船（野菜を運ぶ船）1艘を寄進すると書かれています。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

はちさき いのや
蜂前神社と井伊谷徳政

浜松市



位置図

所在地 浜松市北区細江町中川（祝田）



女性として井伊谷領主を継いだ井伊直虎に対し、永禄9年（1566）、今川氏真は井伊谷及び祝田・都田の地域に徳政令（賃借関係の破棄）を命じました。直虎は独自の判断で、徳政令の実施を2年間押しとどめています。蜂前神社には、その時の経過がわかる古文書が残っています。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

でんまつしたやしきあと
伝松下屋敷跡

浜松市



位置図

所在地	浜松市南区頭陀寺町
-----	-----------



この場所は、今川氏家臣で引間城主飯尾氏に仕えた松下氏の屋敷跡です。永禄7年（1564）に、今川氏真に対して反乱を起こした飯尾連龍や松下氏がこの屋敷に立て籠もり、今川氏の軍と戦いました。屋敷は戦乱の中炎上しました。発掘調査では火災にあった建物跡が見つかっています。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

かけた
欠下城跡

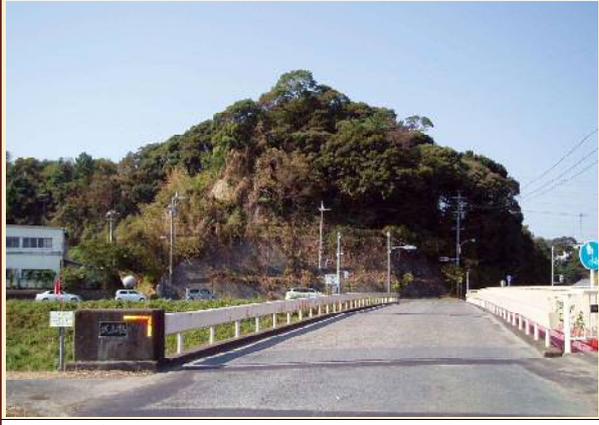
だいぼさつ
（大菩薩山）

浜松市



位置図

所在地	浜松市東区有玉西町
-----	-----------



武田信玄の遠江進軍の拠点となったこの場所は、それ以前にも、今川家と井伊家の攻防で何度も舞台となっていました。永禄六年（1563）、今川氏真の命で出陣した井伊直平は、この付近の有玉旗屋宿（畑屋）で毒殺されて、存亡の危機を迎えた井伊家は、直虎を女性ながら後継としました。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

おいだいら
大平城跡

浜松市



位置図

所在地	浜松市浜北区大平
-----	----------



井伊谷に本拠を置いた井伊氏は、周囲に城を置いて守りを固めました。大平城は東の要で、灰木川を東の堀として利用し、尾根づたいに小さな土輪が連続しています。南朝方の拠点となり、暦応二年(1339)に北朝方の攻撃を受けました。本拠となる三嶽城の落城後も持ちこたえましたが、高師泰と増員された仁木義長らに攻められて落城しています。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏

ほりえ
堀江城跡

浜松市



位置図

所在地	浜松市西区舘山寺町
-----	-----------



大澤氏が居城とした浜名湖東岸・内浦に面した城で、湖上の水運の拠点でした。戦国時代の太田氏は遠江守護・斯波氏に付きまわりましたが、駿河から勢力を伸ばした今川氏親に降って本領を安堵されました。永禄十二年(1569)、徳川家康が遠江に侵攻すると家康と戦いましたが、後に和睦し、徳川政権下でも高家として存続し、この地を領有していました。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏



井伊氏の本拠・井伊谷

浜松市

所在地

浜松市北区引佐町井伊谷



井伊氏は、南北朝時代に宗良親王を擁して北朝との戦いに敗れましたが、西遠江の国衆として勢力を盛り返し、駿河の戦国大名となった今川氏とたびたび争いました。その後今川氏の配下となりますが、今川氏真の代の動乱の中で、謀反を疑われて当主が暗殺され、存亡の危機を迎えます。

画面右手の山が三嶽城跡、画面左やや手前の丘陵が井伊谷城跡で、その麓に居館があったと伝わります。



遠江歴史文化ネットワーク

この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の今川氏



遠江歴史文化ネットワーク

ご紹介した場所の案内図



この展示会は、静岡県中西部（旧国名で「遠江」）を所管する島田市から湖西市まで、全12市町の文化財担当課が共同で開催しています。

遠江の祭礼と民俗行事

静岡県西部 12 市町の文化財と博物館の担当者が協力し遠江の歴史と文化を紹介する「遠江歴史文化ネットワーク」、今回は遠江の無形民俗文化財を紹介します。

遠江歴史文化ネットワーク



皆様に知っていただきたい、後世に伝えてゆきたい数多くの無形民俗文化財の中のいくつかを紹介いたします。現地を訪ねるきっかけとなることを願っています。

平成 24 年度遠江歴史文化ネットワーク事業



はな まい 川合花の舞 浜松市

浜松市天竜区佐久間町川合には、奥三河や南信州と共通する花の舞（花祭り）が伝えられています。川合では10月末の土曜日に開催されますが、同町今田では11月に開催するなど、県境をまたぎ秋から冬にかけて、各地で盛況に催される、旧暦霜月の行事です。さらに、かつては市内北部の数多くの集落で開催されていた痕跡が神社や旧家の持ち物に残されています。

遠江歴史文化ネットワーク



ひ おど ひよんどり（火踊り） 浜松市

浜松市北区引佐町では、新年に五穀豊穡を祈って田楽が奉納されます。当地では「ひよんどり」と呼び、同町寺野で1月3日、川名で1月4日に、それぞれ地域のお堂で開催されます。愛知県境をまたぎ、さらにいくつかの集落でも開催されていたようです。浜松市天竜区にも同様の祭事が伝わり、こちらは「おくない」（行いがもとの意味か）と呼ばれています。

遠江歴史文化ネットワーク



えんしゅうだいねんぶつ 遠州大念仏 浜松市

浜松市内中区・東区・浜北区を中心に、盆行事としてにぎやかな念仏供養が開催されます。「組」と呼ばれる集団が初盆を迎えた家をまわり、双盤や太鼓をたたきながら歌と踊りを披露します。現在では、新暦の盆と旧暦の盆に合わせ、7月と8月に行われます。中区・東区では、三方原合戦がその起源といわれています。同様の念仏は、磐田・袋井市内にも広く伝わります。

遠江歴史文化ネットワーク





県指定 無形民俗文化財 **いちまんじんじゃ おさかきしんじ**
一幡神社の御榊神事 牧之原市

菅ヶ谷地区の一幡神社で、毎年2月上旬に行われる御榊神事は、「二十八名」と呼ばれています。28軒の家がお祭りを取り仕切ります。なかでも、毎年1軒選ばれる「本名」は、「御榊様」という御神体を作り、境内（昔は自宅）に建てられた小屋に安置して、神事までの1年間丁寧に祀りする大変重要な役目です。

神事当日、本名は御榊様を持って神社へ向かい、氏子たちが見守るなか、餅と榊の葉を取り出して無事を確認します。最後の務めを果たした本名の顔に、安堵の表情が浮かびます。

遠江歴史文化ネットワーク



国指定 重要無形民俗文化財 **おおえはちまんぐう おふねしんじ**
大江八幡宮の御船神事 牧之原市

大江八幡宮に伝わる御船神事は、毎年9月中旬の例祭に行われます。発祥は江戸時代中期、廻船問屋が航海の安全と商売の繁盛を祈願して始めたそうです。神事に使う御船は、菱垣廻船と樽廻船を精巧に模したもので、実物の10分の1、全長は約2メートルあります。

船若と呼ばれる青年たちに担がれた御船は、渡御行列の先頭に立って地区内を練り歩きます。道中では御船歌が歌われ、担ぎ手は御船を上下に激しく振ります。廻船が大海原の荒波を乗り越えていく様子を表現しています。

遠江歴史文化ネットワーク



国指定 重要無形民俗文化財 **ひるがや たあそ**
蛭ヶ谷の田遊び 牧之原市

稲作の仕草を演じることで、豊作や子孫の繁栄を願う蛭ヶ谷の田遊びは、毎年2月11日の夕方から深夜にかけて、蛭ヶ谷地区の蛭児神社で氏子の青年たちによって行われます。

神社の周囲は林に囲まれ、照明は境内に焚かれたかがり火だけ、楽器の伴奏もありません。暗闇と静けさのなか、「四方切り」や「田植え」「稲刈り」など17の演目が、約5時間淡々と素朴に行われます。

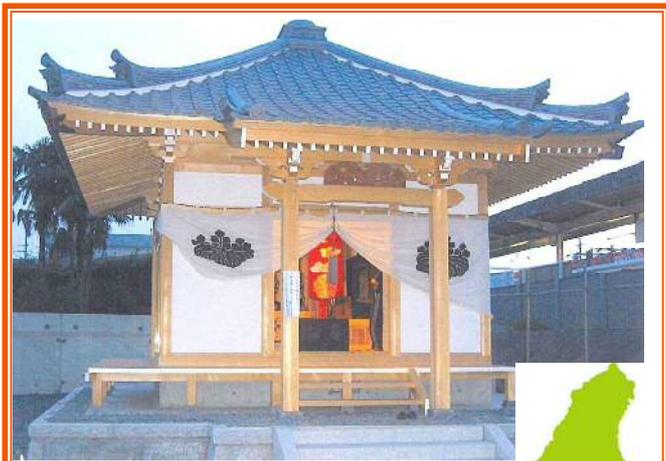
遠江歴史文化ネットワーク



遠江歴史文化ネットワーク

菊川市 潮海寺の潮海寺祇園祭りは3年毎の7月下旬に行われます。江戸時代から続く八坂神社の祇園祭は、周辺地域の疫病を祓うためにはじまったとされ、夏の夕暮れ時に屋台が石段を下り上る姿は美しく、勇ましい姿が見どころです。また、近隣には見られない特徴を持つ潮海寺祇園囃子は、菊川市指定無形民俗文化財に指定されています。

ちょうかいじぎおんまつ **潮海寺祇園祭り** 菊川市



遠江歴史文化ネットワーク

菊川市堀之内にある報恩寺の釈迦まつりは、毎年3月15日に執り行われます。祭（涅槃会）は、釈迦の最後の説法である「仏遺教経」というお経をあげ、釈迦を偲ぶ法要です。釈迦が亡くなったときの様子を描いた「仏涅槃図」という絵を掲げ、「涅槃団子」と呼ばれる、色とりどりの団子が供えられます。

ほうおんじ しゃか
報恩寺の釈迦まつり 菊川市

遠江歴史文化ネットワーク



たかまつじんじゃ ほうのうずもう
高松神社の奉納相撲 御前崎市

高松神社の奉納相撲は、高松山に鎮座する高松神社の祭礼の一つです。祭典は毎年10月第2月曜日直前の土・日曜日両日に開催され、奉納相撲は祭典1日目の午前9時から行われます。

奉納相撲には花相撲・子供相撲・一番相撲・三役相撲があり、現在では参加者や一般の見物者も増加し、かつての賑わいを取り戻しています。

遠江歴史文化ネットワーク



さくらがいけ ひつおさ
桜ヶ池のお櫃納め 御前崎市

御前崎市浜岡町の池宮神社と桜ヶ池を舞台に行われる伝統行事「桜ヶ池のお櫃納め」は、毎年秋彼岸の中日に執り行われます。浄土宗の開祖・法然上人が、師の皇円阿闍梨のためにお櫃を献じて法要を営んだのが始まりとされ、地元遊泳団の若者たちによってお櫃納めが行われます。毎年、この祭りを一目見ようと全国から数千人の人々が集まります。

遠江歴史文化ネットワーク



遠江歴史文化ネットワーク

「かさぼこと大念仏」は、遠州の盂蘭盆（うらぼん）行事で、一村一連の若者と子どもが大念仏の合間に子供念仏を演じます。明治以降は地域により大念仏と子供念仏（かさぼこ）に分かれました。

森町のかさんぼこでは、8月13・14・15日の夕方から三日三晩、盆車に太鼓を付け、初盆のお宅を巡行して念仏（供養と娯楽の両方）を申し上げます。

森町のかさんぼこ 森町



遠江歴史文化ネットワーク

「お田植え祭」は、遠州一宮小国神社に伝わる神事です。明治以降簡略化し、以来神饌田しんせんでんにおける内々の祭儀が執り行われてきましたが、平成19年に復興されました。

地元中学校の生徒が、白衣に赤の奴袴姿ぬばかまの五月女8人と白丁装束はくちようの五月男4人を務め、お田植え曲に併せて苗を植える独特な所作を再現します。

小国神社の御田植え祭

森町



遠江歴史文化ネットワーク

森町飯田にある山名神社祇園祭は、毎年7月15日に近い土曜日、日曜日に執り行われます。この両日に奉納される「舞もの」は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

お舞は京都祇園祭の「八撥」「獅子」をベースにしたもので、京都の祇園祭では途絶えてしまった「龍」「蟪螂」等、古い形の貴重な舞を伝承しています。

山名神社天王祭のオマイ

森町



ささわやくし 佐沢薬師のひよんどり 川根本町

榛原郡川根本町のささわやくしささわやくしのひよんどりは、毎年1月7日午後5時から夜が更けるまで行われます。男女の出会いの機会を作ろうという意味と、雪の降らぬように祈ったのが始まりとされ、悪霊あくりょうを追い出し、精霊せいれいを呼ぶと考えられています。時代の流れとともに姿を消していますが、このように日本人の心を今に伝えるひよんどりを私たちは、継承してゆきたいものです。

遠江歴史文化ネットワーク



うめづかぐら 梅津神楽 川根本町

榛原郡川根本町梅地のこだま石神社・若宮神社の神事である梅津神楽うめづかぐらは、毎年1月の第3水曜日に両神社1年おきに交替で行われます。文明年間に地名を梅津と改め、神楽を奉納ほうのうしたことが始まりとされる梅津神楽は、神楽舞などの行事が行われます。梅津神楽は演ずる者と見る者が一体となり行うものとして長い伝統を持つ、この地における唯一無二の娯楽でした。

遠江歴史文化ネットワーク



平谷の流したい

川根本町

ほいはら へらや
 榛原郡川根本町平谷前の大井川で行われる平谷の流したいは、毎年7月14日に行われます。大井川の大洪水による災厄から逃れ、犠牲者の霊を慰めるために津島神社に捧げたのが始まりだとされています。流したいは、地元の人たちで結成した保存会員によって作業が行われます。同様の行事は現在では平谷で行われるのみとなり、後世に伝え続けたいものです。

遠江歴史文化ネットワーク



おかやま やま かみまつ 岡山の山の神祭り

袋井市

ふくろいしあさな
 袋井市浅名の岡山地区に伝承される「岡山の山の神祭り」は毎年12月8日の早朝に地域の男の子によって行われます。子供たちが親の丈夫を願う山の神を祀ることを考え、山の神の祠を作ったことが起源です。子供たちは山の神近くに集まり神饌の準備をして参拝します。その後、地区の家を回って勧進を行い、健康を祈る行事です。

遠江歴史文化ネットワーク



はったさんたあそびまつり 法多山田遊祭

袋井市

袋井市豊沢にある法多山尊永寺の法多山田遊祭は、室町時代から伝わる五穀豊穡を祈願する祭で、毎年1月7日に行われてきました。田遊とは、年の初めに米作りの一連の作業を模擬的に演じて豊作を祈願する予祝の神事で、法多山の田遊には七段の舞が伝えられています。現在も法多山地区の人々によって伝承され続ける、民俗学的にも貴重な祭です。

遠江歴史文化ネットワーク



きはらだいねんぶつ 木原大念仏

袋井市

袋井市に伝わる木原大念仏は毎年8月13、14日の二日間、新益の家を廻り行われます。天正6年、武田方の榎田源吾は徳川方の村人によって討ち取られました。その後、村は疫病や災害に見舞われ、源吾の霊の仕業ではないかとの噂が広まり、その祟りのために始まったのが木原大念仏です。念仏は皆そろいの衣装を着て新益の家を練り回ります。

遠江歴史文化ネットワーク



せんおど
お仙踊り

島田市

はつくら
初倉の里、ある橋のたもとで機を織り、道行く旅人に初倉のお茶を差し上げて旅の苦労をねぎらったという器量よしの娘を描いた民謡踊りです。

お仙踊りは男性が女装し、雪流しに振袖姿、唄い手とお囃し鳥追笠に角帯姿の着流しといういでたちで舞うことから、花笠踊り、念仏踊りと関係があるかもしれないという説もあります。

遠江歴史文化ネットワーク



遠江歴史文化ネットワーク



掛塚祭は、毎年10月に行われる掛塚の貴船神社の祭礼です。南北朝時代に後醍醐天皇の皇子・宗良親王が、遠江沖で暴風雨にあい、白羽についたおりに貴船神社の大祭に会い、親王の随員から屋台囃子を伝授されたのが始まりと伝えられます。大太鼓・小太鼓・横笛により京風のお囃子が演奏されます。県指定重要無形民俗文化財に指定されています。

かけつかまつりやたいばやし
掛塚祭屋台囃子

磐田市



遠江歴史文化ネットワーク



平安時代中頃から遠江国府の所在地として、鎌倉時代以降は宿駅として栄えた見付を舞台に繰り広げられる矢奈比売神社（見付天神）の大祭が、見付天神裸祭です。矢奈比売神社の祭神が遠江国総社の淡海国玉神社へ渡御する前、腰巻姿の男達が神社の拝殿や町中で乱舞することから「はだか祭」と呼ばれ、国指定重要無形民俗文化財に指定されています。

みつけてんじんはだかまつり
見付天神裸祭

磐田市



遠江歴史文化ネットワーク



毎年1月第2日曜日に下太の八王子神社で行われる祭事で、祭典の由来は、江戸時代の元禄年間(1688～1704)に流行病がこの近所に広がったため、鎮めることを願ってはじめられたといわれています。

祭典当日、村中の裸姿の男衆が御神酒を飲んだ後で西側の今之浦川に入り、神前に供える米をとぎます。市指定重要無形民俗文化財に指定されています。

はちおうじじんじゃこめ

八王子神社米とぎまつり

磐田市

健康寿命の延伸に向けた連携について（最終報告）

1 趣旨

平均寿命に代わって注目される「健康寿命」は、都道府県トップクラスの静岡県、政令指定都市トップの浜松市など、遠州地域にとって大きな魅力となる可能性を持っている。

高齢者人口の増加や高齢者の高年齢化が急速に進み、健康寿命の延伸が各自治体の共通の課題となる中、地域全体として健康寿命の延伸に向けた取組を検討したものの。

2 研究内容

介護予防、お茶の効能などの健康寿命の延伸に関し、情報整理、意見交換及び広域連携事業の検討を行った。

3 体制

健康寿命の延伸に係る内容に応じた担当国会議を適宜開催した。

※介護予防に係る取組の詳細は、資料 2-2 のとおり。

※お茶の効能等に係る既存研究の一覧等は、資料 2（別紙）のとおり。

4 スケジュール等

平成 27 年 7 月 9 日	第 9 回遠州広域行政推進会議（本テーマの決定等）
8～9 月	お茶の効能等に係る取組の方向性検討（事務局、掛川市（提案市））
10 月 9 日	第 1 回介護予防事業に関する担当国会議の開催 （目的・研究テーマを確認、各市町の状況等の整理）
11 月 5 日	第 10 回遠州広域行政推進会議（中間報告）
11～12 月	お茶の効能等に係る既存研究調査の確認（各市町等）
平成 28 年 1 月 5 日	健康寿命延伸に係るお茶の効能等関係課長会議 （既存研究調査結果の共有、今後の方向性に係る議論等）
1 月 29 日	第 2 回介護予防事業に関する担当国会議 （特色ある取組の情報共有、広域連携の可能性のある事業の選定）
1～3 月	お茶の効能研究等に係る意向確認等（各市町）
3～4 月	お茶の効能研究等に係る今後の方針の確認（各市町）
5 月	第 3 回介護予防事業に関する担当国会議（書面協議）
7 月 11 日	第 11 回遠州広域行政推進会議（最終報告）

5 今後の連携取組等

〈介護予防〉

- (1) 遠州地域介護予防事業連絡会議を設置し、構成市町間における介護予防に関する情報共有、意見交換等を図る。
- (2) 介護予防事業に取り組むボランティア団体に対し、情報や気づきの機会を提供するための意見交換やボランティアスタッフ育成・確保等に係る研修会を開催する。

〈お茶の効能〉

- (1) 新規実証調査に関し、現時点では実施を見合わせるが、今後、東北大学（掛川市）との調整が調う目途がつくことや、他の研究機関による調査がある場合は、各市町の担当課で改めて検討した上で、必要な協力をする。
- (2) お茶の効能に係る取組として、下記につき可能な範囲での連携取組を各市町の担当課で実施・検討する。
 - ① お茶効能に関するシンポジウムや各種イベントにおける情報発信
 - ② 県及び県立大学で集約するお茶の効能の研究等に関する継続的な情報収集
 - ③ お茶の合同 PR 販売会等の事業の実施

介護予防の取り組みと広域連携について（報告資料）

1 これまでの経緯

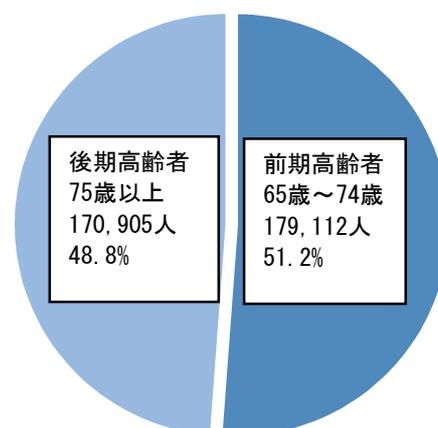
- ① 平成 27 年 7 月 9 日 第 9 回遠州広域行政推進会議
健康寿命の延伸に関して介護予防の取り組みの状況と情報交換の検討
- ② 平成 27 年 10 月 9 日 第 1 回介護予防事業に関する担当者会議
研究テーマ
「介護予防事業の展開における情報共有と広域連携の可能性の検討」
- ③ 平成 27 年 11 月 5 日 第 10 回遠州広域行政推進会議
研究テーマの確認、進捗状況の報告
- ④ 平成 28 年 1 月 29 日 第 2 回介護予防事業に関する担当者会議
 - 圏域における高齢者の現状把握
 - 各市町における介護予防の取り組み
 - 広域連携の可能性のある事業について意見交換
- ⑤ 平成 28 年 5 月 第 3 回介護予防事業に関する担当者会議（書面協議）
取りまとめの方向性の確認

2 遠州圏域における高齢者を取り巻く状況

(1) 高齢者人口、高齢化率 (H27.4.1 住民基本台帳数値)

区分	人口(人)	構成比
総人口	1,393,360	100.0%
高齢者人口	350,017	25.1%
65歳～74歳	179,112	12.9%
75歳以上	170,905	12.2%

前期高齢者と後期高齢者との割合



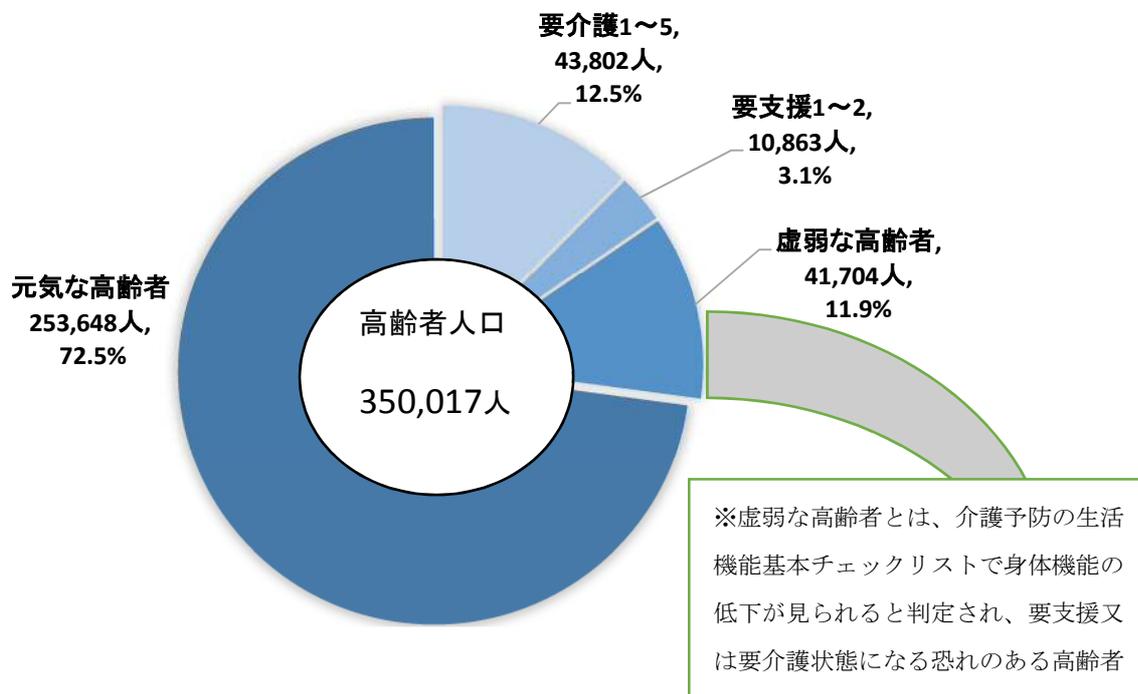
(2) 要介護認定者数 (H27.3.31 現在)

区分	人口(人)	構成比
要支援1	5,202 人	9.5%
要支援2	5,661 人	10.4%
要介護1	14,735 人	27.0%
要介護2	9,529 人	17.4%
要介護3	7,434 人	13.6%
要介護4	7,374 人	13.5%
要介護5	4,730 人	8.6%
合計	54,665 人	100.0%

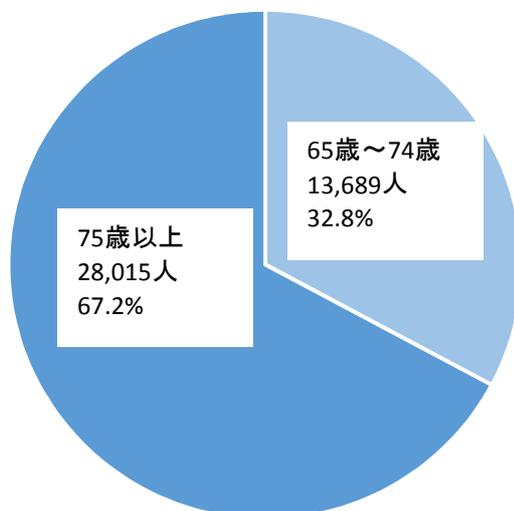
認定区分別	区分	認定者数	構成比	認定出現率
	要支援 1～2	10,863 人	19.9%	3.1%
	要介護 1～5	43,802 人	80.1%	12.5%
	合計	54,665 人	100.0%	15.6%

年齢別	区分	認定者数	構成比	認定出現率
	65歳～74歳	6,156 人	11.3%	3.4%
	75歳以上	48,509 人	88.7%	28.4%
	合計	54,665 人	100.0%	15.6%

(3) 心身の状況



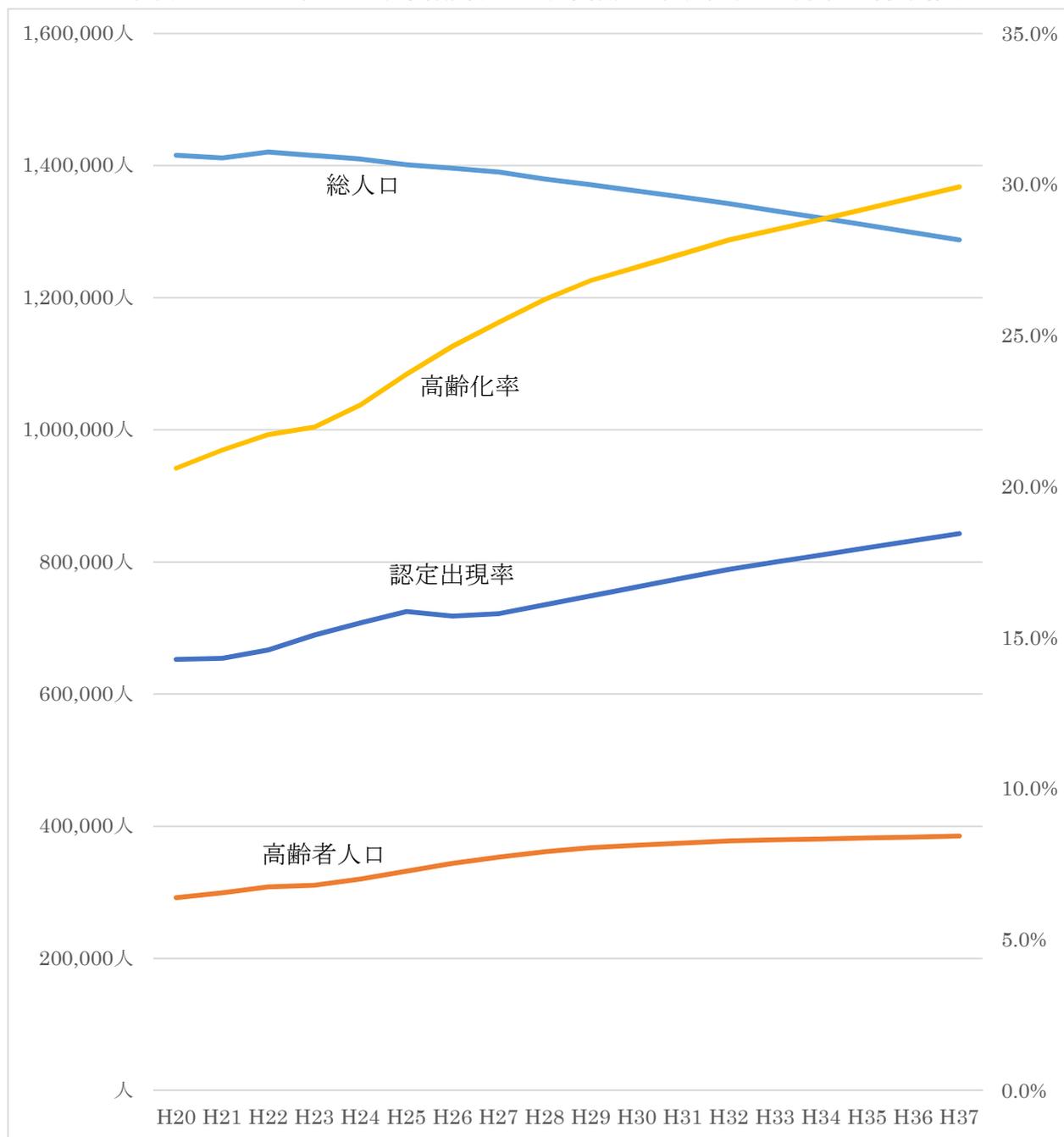
虚弱な高齢者の年齢別内訳



※虚弱な高齢者の約3分の2は75歳以上が占める。

これらの高齢者の介護認定出現率を上げない施策⇒介護予防事業が重要

(4) 圏域における総人口、高齢者人口、高齢化率、認定出現率の将来推計



(5) 介護給付費の推計

上昇が見込まれる認定出現率の伸びを介護予防事業への積極的な取組みにより、0.3%又は0.5%抑制した場合、10年経過後の平成37年度には、介護保険給付費は、0.3%抑制の場合約23億円、0.5%抑制の場合約38億円の削減効果があると試算。(給付費平均単価は固定で試算)

3 担当者会議における検討

(1) 各市町における介護予防事業の取組み

ア 実施状況の把握

- 各市町が実施する運動器の機能向上を図る予防事業は合わせて 23 事業
- 市町ごとに事業内容は多種多様

市町	事業名	参加者数(名)
浜松市	運動機能向上トレーニング [※] 教室	379
	ロコモーショントレーニング [※]	525
磐田市	通所型・訪問型介護予防事業(運動)	233
	転倒予防教室	183
掛川市	健やかフィットネス	17
	健康じるし教室	132
	ぴんぴん教室	2,387
	地域はつらつ元気アップ [※] 講座	526
袋井市	はつらつ運動教室	416
	かるやか運動教室	62
湖西市	ほがらか運動教室	82
	シニア [※] リハビリウォーク教室	85
	筋力トレーニング [※] 教室等	30
御前崎市	運動トレーニング [※] 教室(ふるる運動)	33
	転倒予防教室	65
菊川市	元気はつらつ教室運動コース	56
	ロコモ予防教室	35
牧之原市	運動機能向上教室	33
	生き生き体操体験講座・ロコモ予防教室	685
	吹き矢普及・ミニランポ [※] リンウォーク教室	1,113
	歩友ウォーキング [※] 教室等	87
森町	元気あつぷ運動教室	29
	もりトレ倶楽部	15
※平成26年度実績		

イ 介護予防事業の課題

《主な意見》

- 介護予防事業への参加率が少なく、参加者が固定的で女性が中心
- 短期集中型の事業では、事業効果の維持や取組みの継続が課題
- 二次予防事業対象者の把握が困難
- 市民ボランティアの養成や指導スタッフなどの人材確保が課題

(2) 広域連携の可能性

《主な意見》

- 今後も特徴的な各市町の取組み事例の情報共有及び情報交換を行いたい。
- 介護予防を行うボランティア団体の交流会や意見交換会の開催を検討してはどうか。
- 地域の実情が異なるため、広域的、統一的な取組みを直ちに行うことは困難。

4 今後の取組み

これまでの担当者会議における意見等を踏まえ、介護予防に関する積極的な情報共有や研修会の開催を通じ、地域の実情にあった施策立案を検討することとし、下記の方向性で今後取組むこととする。

(1) 遠州地域介護予防事業連絡会議の設置

下記事項を中心に、構成市町間における介護予防に関する情報共有を図り、各市町における介護予防事業に関する施策立案の参考とする。

また、必要に応じ、介護予防事業に関する意見交換等の会議を開催する。

- ア 運動器機能向上の取組みの内容や実施状況及び効果
- イ 健康産業事業者からの事業提案

(2) 介護予防の取組みを行うボランティア団体に対する研修会の開催

介護予防事業に取り組むボランティア団体に対し、他団体の活動に関する情報や気づきの機会を提供するための意見交換やボランティアスタッフの育成・確保などに関する研修会を開催する。

お茶の効能等にかかる既存研究

No.	研究・論文・レポート等の名称	実施者等	事業費	実施年・発表年	内容			
					概要	結果等	被験者	
1	緑茶のもつ生活習慣病改善効果の検証と効果的な摂取を可能にする新食品の開発 (掛川スタディ)	東北大学大学院(栗山進一) <合同研究者> (独)農研機構 野菜茶業研究所(山本(前田)万里) 九州大学大学院(立花宏文) 掛川市立総合病院(鮫島庸一) <協力> 掛川市	83,500千円 (平成21~23年度) ※追跡調査にかかる予算は不明 ※農林水産省委託事業	実施:平成21年度~平成23年度 ※コホート調査は追跡調査を実施中 ※緑茶カテキン感知機能に関する研究は平成22~23年度に実施	緑茶コホート研究	アンケート調査や血液検査、身体測定などを通じて、緑茶飲用の生活習慣や健康状態の基礎調査を行った後、追跡調査により生活習慣と病気の関連性を調査。	ベースライン調査を実施済。 現在、追跡調査を実施中	掛川市民 (1,164名)
					緑茶介入試験	お茶の試験食品を12週間継続摂取し、血液検査などにより緑茶の生活習慣病予防効果を調査(やぶきた茶エキスパウダー、べにふうき茶エキスパウダー、緑茶成分のない粉末で比較)。	やぶきた茶エキスパウダーを12週間飲み続けた人は、悪玉コレステロールが平均9.02mg/dl減少し、ウエストも1.86cm細くなった。	掛川市民 (3年間累計413名)
					緑茶の形態による吸収への影響解析	緑茶に含まれるカテキン類の体内への吸収について、緑茶を入れる温度、時間、茶葉の粒度、飲み方の違いなどが与える影響を調査。	①粉末の場合、EGCGとECGは粒径の小さい方が吸収率が良い ②粉末の場合、牛乳さらにビタミンEを添加した方が吸収率が上がる傾向にある(EGCGで有意差あり) ③(2)抽出液の場合、牛乳、豆乳、牛乳+卵黄の添加では変化はなかった ④ちび飲みより一気飲みの方が吸収率が良い	
					緑茶カテキン感知機能	緑茶の中にあるカテキンを、効率よく体内に吸収するには、どのような生活習慣が適しているかを研究。併せて、カテキンが体内でどのようなメカニズムで解毒などの効果を示すのかも研究。	「べにふうき」の摂取により、Nrf2(※酸化ストレス防御機構の中心的な役割を担う転写因子)の発現量が増加する可能性が示された。 ※「酸化ストレス」は様々な疾患を引き起こすとされる。	
2	ふくろい発!!茶れんじ健康プロジェクト	袋井市 総合健康センター健康づくり課健康企画室(旧健康推進部健康づくり政策課健康企画室)	3,741千円 (平成26年度)	実施:平成26年度	市民モニター100人を2群(各50人ずつ)に分け、白茶・黒茶を3ヶ月間飲用してもらい、血液検査・アンケート調査により、血糖値・生活習慣の変化を調査。	白茶・黒茶の血糖値抑制作用は不明。ただし、調査を通して被験者の運動習慣の改善や知識の向上が見られた。	袋井市民 (100名)	
3	べにふうき飲茶によるスギ花粉症の鼻閉改善	菊川市立総合病院(石崎久義)	不明	論文発表:平成25年度	スギ花粉アレルギー性鼻炎などの患者を対象に臨床実験を実施。	「べにふうき」の継続的な飲用が、アレルギー症状の改善や緩和に効果的との結果が出た。	スギ花粉アレルギー性鼻炎などの患者(104名)	
4	静岡県高齢者コホート調査 (論文:日本の高齢者における緑茶の消費と死亡率~静岡県高齢者コホート試験~)	静岡県総合健康センター (論文発表者:岡山大学医歯薬学総合研究科 鈴木越二)	不明 (参考) ・平成25年度第2期調査(初回調査)→約9,800千円 ・平成17年度追跡調査→約3,500千円	実施: ○初回調査 平成11年度 ○追跡調査 平成14,17,20年度 (論文発表:平成21年度)	県民の健康寿命の延伸につながる要因を特定するために、アンケート調査及び追跡調査を実施。調査データから岡山大学の鈴木教授が緑茶消費と死亡率についての論文を発表した。	(静岡県のプレスリリース)緑茶を1日当たり7杯以上飲む高齢者は、緑茶をほとんど飲まない高齢者に比べて、死亡率が半分以上減少した。 (論文検索サイトのアブストラクト)緑茶の消費量が、すべての原因による死亡率、心血管疾患による死亡率の減少に関連する。また、大腸がんの予防効果を有しうることを示唆する。	静岡県民 (初回の回答者14,001人)	
5	静岡県立大学茶学総合研究センター実績報告書	静岡県立大学茶学総合研究センター	不明	公表:平成26年度	平成26年度に静岡県立大学に開設された「茶学総合研究センター」の年次報告。以下の研究について報告。 1) 緑茶の抗ストレス性などの解明 ①緑茶の香りの機能性 ②玉露による抗ストレス性作用の検証 ③低カフェイン緑茶によるストレス軽減効果 2) 緑茶の様々な機能性の解明に関する研究 ①緑茶抽出物の放射線防護効果に関する研究 ②茶の根の抽出物が老化ラットの脳機能を改善する効果 ③低カフェイン茶を用いた後発酵茶の開発と抗肥満効果 ④脳の老化抑制作用における緑茶カテキン分子の違いに関する検討	下記の結果などが報告されている。 ・健康寿命の延伸について、ストレスは大きな阻害要因と考えられるが、お茶に含まれるテアニンによる抗ストレス効果について下記の結果を得た。 ➤カフェインやカテキンの共存でテアニンの抗ストレス効果は打ち消されるが、テアニンの量が多い場合や、カフェイン量を抑制する場合は、抗ストレス効果が期待できる。		
6	~緑茶と健康のメカニズム~ 機能効用ナビゲーション2013	静岡県経済産業部 農林業局茶業農産課 (公益財団法人世界緑茶協会へ委託)		公表:平成25年度	緑茶の機能性・効用について、28人の研究者が32項目にわたる健康機能を解説した冊子。以下についての記事を掲載。 (1)がん抑制効果 (2)メタボ関連疾患予防効果 (3)肝機能保護効果 (4)老化抑制効果 (5)脳機能調整効果 (6)アレルギー緩和効果 (7)自己免疫疾患予防効果 (8)抗菌、抗ウイルス効果 (9)抗乾燥(かんせん)効果 (10)骨粗鬆症予防効果 (11)歯周病予防効果 (12)腸内細菌叢調整効果(おなかの調子をよくする効果) (13)留意すべき緑茶の作用	お茶の成分が、健康寿命の延伸に関連する「がん抑制」「メタボ関連疾患予防」「老化抑制」「脳機能調整効果(認知症予防、脳卒中予防、脳機能改善・増強)」「骨粗しょう症予防」などに効果があることを報告している。		
参考	栄養疫学調査(「三ヶ日町研究」) ※ウンシュウミカンの疫学研究	(独)農研機構 果樹研究所 <共同研究者> 国立長寿医療センター研究所疫学研究部 <協力> 浜松市北区三ヶ日協働センター(旧三ヶ日町住民福祉課)	不明	実施:平成14年度~	旧三ヶ日町民を対象とした栄養疫学調査で、平成15年度から開始。平成17年度からは骨密度の項目を追加し、4年間の追跡調査を実施(対象者457名)。	①ミカンをよく食べる人は肝疾患のリスクが低い ②ミカンをよく食べる人は動脈硬化のリスクが低い ③ミカンをよく食べる人はインスリン抵抗性のリスクが低い ④ミカンをよく食べる人は骨密度低値のリスクが低い ⑤ミカンをよく食べる人はメタボリックシンドロームのリスクが低い ⑥喫煙・飲酒習慣は血清カロチノイド値に影響を及ぼす ⑦β-クリプトキサンチンとビタミンCの両方の摂取が多い人は骨密度低値のリスクが低い ⑧ミカンをよく食べる人閉経女性では骨粗しょう症の発症リスクが低い ⑨ミカンをよく食べる人は脂質代謝異常症の発症リスクが低い ⑩ミカンをよく食べる人は糖尿病の発症リスクが低い ⑪ミカンをよく食べる人は非アルコール性脂肪肝の発症リスクが低い ⑫ミカンをよく食べる人は動脈硬化の発症リスクが低い ⑬ミカンをよく食べ、且つビタミンCの摂取量が多い人は骨粗しょう症の発症リスクが低い	浜松市民 (旧三ヶ日町民) (累計457名)	

■平成28年度の静岡県等の主な取組

No	事業等の名称	概要	取組主体	備考
1	明日のしずおか茶育成事業補助金制度	静岡県の茶業の振興を図るために事業を行う団体等に補助金を交付。	静岡県	
2	しずおか茶いろどり見本市	魅力溢れる静岡茶を、来場された方々に知っていただく、商談・試飲・購入が可能な交流商談会で、東京、大阪、名古屋など、全国主要都市で開催。静岡県内の伝統ある茶問屋から知る人ぞ知る生産者まで、多数の事業者が一堂に会し、深蒸し茶のほか、希少な山のお茶屋特徴ある茶種・形態などの多彩な静岡茶を出品。	静岡県	
3	第6回世界お茶まつり	お茶の魅力を国内外に発信するため、静岡県が2001年から3年おきに開いている。5月に春の祭典、10月に秋の祭典を開催。	静岡県	
4	緑茶の表示研修会	県内茶生産者、茶商、農協、市町、農林事務所茶業担当職員等を対象に緑茶に関する表示ルールについて解説。	静岡県	
5	ふじ33プログラムの普及	普段の生活で実行可能な「運動」・「食生活」・「社会参加」の3つの分野の行動メニューを3人1組でまずは3か月実践することで、望ましい生活習慣の獲得を目指すプログラム。	静岡県	
6	健康マイレージ事業	市や町が実施する健康マイレージ事業など先進的な健康づくり事業への支援	静岡県	
7	ふじのくに健康づくり推進事業所宣言	個人の健康づくりや企業・事業所の健康経営の取組を後押しするため、県と企業・事業所が連携して健康づくりの目標を宣言する仕組みを整え、その内容を公表・周知することで、県全体の取組の輪をひろげ、健康づくりの推進と意識の高揚を図る。	静岡県	
8	健康づくり活動に関する知事褒賞	健康増進に関する活動に積極的に取り組み、今後もその活動が期待できる事業所等を表彰し、職場における健康づくりを推進することを目的として創設した褒賞制度。	静岡県	
9	お塩のとりかたチェック票の作成	本県の脳血管疾患の死亡数が全国平均よりも多いことから、高血圧の予防として、「お塩のとりかたチェック票」を活用して、5年で5%の減塩を目指す。(減塩55プログラム)	静岡県	
10	特定健診・特定保健指導実践者育成研修会	静岡県と静岡県保険者協議会と共催により、特定健診・特定保健指導事業を効果的に企画・立案・運営するとともに、対象者の行動変容につながる保健指導を行うことができる実践者を育成する研修を実施。	静岡県	

No	事業等の名称	概要	取組主体	備考
11	健康寿命の研究	県民53万人分の特定健診データの市町別分析や、緑茶の研究などを強化し、市町の健康づくり施策を支援するとともに県民にも情報提供。	静岡県	
12	みんなで取り組む健康寿命条例（今年度制定予定）	県民一人一人の主体的な取り組みによる『健康寿命日本一』の継続発展を目指すことを目的として条例を制定するもの。	静岡県	
13	「社会健康医学」基本構想検討委員会の立ち上げ	日本一の健康長寿“ふじのくに”を実現するため、平成28年度末を目途に、県民の健康寿命の更なる延伸を図るための基本構想を取りまとめる。	静岡県	資料2-4(別紙)参照
14	内閣府主催シンポジウムでの取組紹介	6月17日(金)開催の内閣府主催シンポジウムにおいて、川勝知事が、静岡県の健康寿命日本一に向けた取組を紹介。特定健康データの「見える化」が健康への意識向上に寄与することを強調。	静岡県	
15	健康寿命日本一に向けたふじのくにの挑戦	静岡県独自の、生活習慣改善プログラム「ふじ33プログラム」を開発。市民49万人の特定健診データを分析し、市町村健康マップの作成や、民間企業等の参画による健康マイレージ事業、健康寿命の研究等も展開。	静岡県	第1回健康寿命をのぼそう！アワード(※)厚生労働大臣最優秀賞
16	住み慣れた地域で最期まで暮らせる支援拠点『ふくしあ』（地域健康医療支援センター）の取組	組織横断的な地域医療支援センター「ふくしあ」を設立し、年齢や健康状態を問わない高齢者支援体制を確立。	掛川市	第4回健康寿命をのぼそう！アワード厚生労働大臣優秀賞
17	健康寿命をのぼそう！いつまでもたのしく、オシャレに、かっこよく！アクティブシニアを応援 仲間と一緒に自立体カプログラム	高齢者の自立体力維持を目的にした「自立体カテスト」を静岡大と共同開発し、普及を目指す。	羽立工業(株)(湖西市)	第4回健康寿命をのぼそう！アワード厚生労働省老健局長優良賞

※健康寿命をのぼそう！アワード

厚生労働省が、生活習慣病の予防の啓発、地域包括ケアシステムの構築に向け介護予防・高齢者生活支援及び母子の健康増進に関して優れた取組を行っている企業・団体・自治体を表彰する制度。

※「資料2-4（別紙）新聞記事」については、著作権の関係により割愛します。

地方創生に向けたRESASの活用について (勉強会実施概要)

1 開催概要

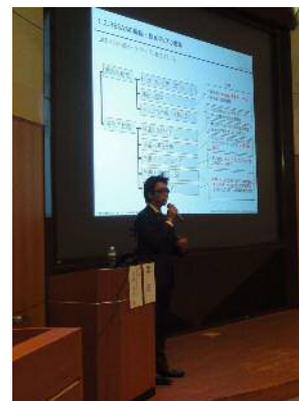
【日 時】平成 28 年 2 月 25 日（木）14 時 30 分から 16 時 00 分まで

【場 所】浜松市地域情報センター ホール

【テーマ】地方創生に向けた RESAS の活用について

2 講 師

・株式会社チェンジ取締役 高橋 範光 氏



3 出席者

・首 長 等 5 名（浜松市長、掛川市副市長（代理）、御前崎市副市長（代理）、湖西市企画部長（代理）、菊川市企画財政部長（代理））

・一般職員 60 名（遠州広域行政推進会議を構成する 8 市 1 町の職員等）

4 次 第

- | | |
|-------------------|--------------------|
| (1) 開会 | (4) 質問・意見交換 (20 分) |
| (2) 座長あいさつ (浜松市長) | (5) その他 |
| (3) 講演 (60 分) | (6) 閉会 |

5 概 要

・地方創生にかかる地方自治体の政策立案、実行、検証の支援のために国が整備した「RESAS」の活用をテーマに、今後の各自治体の政策・事業及び自治体間の広域連携のヒントとすることを目的に勉強会を開催。講師による講演の後、意見交換を行った。

・講師より下記に留意して、RESAS を活用するよう示唆をいただいた。

- ①RESAS ありきではなく、現場の課題／思いをもって、様々なデータを活用する
- ②RESAS は、比較、可視化、課題発見に価値あり
- ③最低限の分析スキルは身に付け、高度なスキルは専門家に依頼

・講演後の質問・意見交換では、「RESAS の分析結果について自分達の実感と異なることがあるが、使用する上で気を付けるべき点などはあるか」、「国から提供された RESAS をどのように活用していけばよいか」などの質問があった。

議題 地域資源を活かした広域観光の推進について

【提案趣旨】

- ・人口減少・少子高齢化に直面する我が国の最重要課題である「地方創生」の取組の一つとして、交流人口の拡大により、地域活性化と移住定住の推進が期待される場所である。
- ・本地域では、富士山静岡空港を拠点とした旺盛なインバウンド需要や、平成 29 年大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放映など、観光等の強化による地域活性化の追い風を受けている。
- ・こうしたチャンスをも十分に活かし、各市町連携のもと、交流人口の更なる拡大と地域活性化に向け、遠州地域の歴史的観光資源を活かした広域観光の推進について議論を深める。

【各市町の現状と課題（主なもの）】

《現状》

- ・徳川家康をはじめとした歴史上の人物と地域との関わりを活かしたシティプロモーション（ガイドブック、周遊コース等）【全市町】
- ・城址や関所などの史跡を観光拠点として活用したツアー等の取組（バスツアー、プレゼントキャンペーン等）【袋井市】
- ・文化財の保護や町並みの景観形成【湖西市】 など

《主な課題》

- ・井伊家、徳川家、今川家、武田家等、多岐にわたる歴史遺産を関連づけるテーマ設定【菊川市、牧之原市】
- ・他地域と連携した効果的な情報発信や誘客の取組、観光施設の歴史的背景のPR不足【掛川市、袋井市】
- ・大河ドラマを契機とした観光資源としての「直虎」の更なる魅力向上【浜松市】

【連携・研究希望事項（主なもの）】

- ・遠州地域周遊を喚起するための歴史ストーリー創出とモデルコース検討
- ・広域連携による県外や海外への情報発信
- ・交流人口の増加を、地域におけるにぎわい創出や地域産業の活性化につながる仕組みの研究

【参考】井伊直虎について

井伊直虎は、のちに徳川四天王「井伊の赤鬼」として活躍し、たぐいまれな出世を成し遂げた井伊直政の後見人として、井伊家存続の危機を救った女性領主。井伊家当主・直盛の一人娘として生まれ、家臣の謀略により許嫁が失踪したことから、龍潭寺で出家し「次郎法師」と名乗った。その後、今川、徳川、武田の覇権争いに巻き込まれ、次々と男子を失った井伊家を救うため、龍潭寺南溪和尚の計らいで「井伊直虎」を名乗り、井伊家受難の時代を救った。

《大河ドラマ放送予定》 平成29年1月から1年間

議題に関する各市町取組調査票

資料4-2

自治体名	現状と課題	井伊直虎関連など歴史遺産を観光資源とする取り組み	連携・研究を希望する事項	備考
浜松市	徳川家康及び井伊直虎を活用したシティプロモーションを実施。直虎マスコットキャラクターは、出世大名家康くんとセットで運用予定。大河ドラマ終了後も継続して、誘客するためのコンテンツ作りが課題	大河ドラマ館の開設（H29.1～H30.1） 家康の散歩道等、歩いて巡るコースの整備。 市内の関連する史跡の看板整備、ゆかりの地ガイドブックの作成。 全国家康公ネットワークへの参加。 家康公祭りの開催（年1回）	周遊モデルコースの研究（例：徳川・武田等の侵攻ルート） ストーリーの創出（例：合戦・和平等歴史的事件の現場、今川家・井伊家ゆかりの古城）	ゆかりの地フォーラム等の開催（8月26日、彦根市、高崎市等を含め、直虎フォーラム開催予定）※参加呼びかけ
磐田市	■遠江歴史文化ネットワークにおいて「遠江の今川氏」と題してパネル原稿の作成を依頼。 ■平成27年度に今川氏関係文書等を市指定文化財とした。	■パンフレットへの関連古跡の記載 ■西部地区の市町が所属する西観協では井伊家ゆかりの地マップを作成し広くPRしていく予定。また、東海道ウォークの需要も高まることが予想されるため、東海道に関するマップを作成し集客に繋げたいと考える。	■ネットワーク会議で連携できる事業について協議したい（パネル展・ウォーク等のイベント、合同パンフレットの印刷等）。	
掛川市	掛川市には掛川城・高天神城・横須賀城の三城あるが、それぞれが単独でPRしており連携した取り組みがなされて来なかった。掛川城は今川氏と井伊氏との繋がりがあり、更に高天神城と横須賀城は武田氏と徳川氏の戦いの場所であったことが広くPRされていない。	左記のことから、今秋に旅行会社の商品造成担当者をお呼びしてファミツアーを実施する計画である。 井伊氏を訪ねるお客様が増える来年を迎えこの機会に連携したPRを考えている。	左記のツアーに同行していただき情報共有することも可能。	
袋井市	袋井市有数の観光資源である遠州三山（法多山・可睡齋・油山寺）それぞれの特徴や催しをPRし、それらを周遊してもらう仕組み、きっかけづくりを行っている。（遠州三山を巡るバスツアー、三山のお寺を巡るプレゼントキャンペーンなど） また、歴史文化館では「袋井市にゆかりのある武将の墓」「徳川家康公と袋井ゆかりの武将・寺社」等をテーマにした展示会を開催しているが、他の地域と連携した効果的な情報発信や誘客が課題である。	可睡齋と油山寺は井伊家に「ゆかり」があるため、花や紅葉、各寺が持つ文化財と「可睡齋ひなまつり」などの新しい取り組みと併せてPRしていきたい。	県外・海外など他地域に向けて、井伊直虎・歴史・自然などの情報を、広域の情報としてまとめて発信することが効果的と考える。 また、歴史文化事業では、すでに関連する市と共同で巡回展を開催しているが、情報発信素材として、周遊モデルコースの研究を希望する。	
湖西市	東海道の要所、新居関所のある湖西市は、平成27年3月に関所の西にあった大御門を歩道上に復元し、文化財を核とした町並みの景観形成をすすめている。また、新居宿と白須賀宿の宿場文化を伝える資料館等がある。	新居宿と白須賀宿をつなぐ街道マップ、宿場内を紹介する町歩きマップを作成。 歴史遺産を行かした着地型観光プログラムの造成。	東海道の宿場同士が連携する仕組み（宿場名物の今昔パンフ）や県域を越えた宿場連携の取り組みスマートフォンなどを活用した、外国人向けの案内アプリの研究	
御前崎市	井伊家と新野左馬助公との歴史の繋がりを地域活性化に向け御前崎市全体への波及効果に繋げていくことを目的に直虎応援プロジェクトを立ち上げた。今後、情報発信、観光ルートの開発に取り組む。施設整備、駐車場の確保などが検討課題である。	新野左馬助公パンフレット作成。 新野地区周辺史跡マップ掲示板作成。 看板整備。 新野地区まるごとマップ作成中。 左馬助のぼり旗作成。 ポスター作成中。 左馬武神社周辺ハイキングコースの整備。	近隣各市町との歴史周遊コースの検討。	
菊川市	【現状】 菊川市は井伊直虎との直接的な関わりがほとんどないが、遠州灘御前崎県立自然公園に指定されている横地城跡や、家康公とゆかりのある史跡等があり、地元管理団体が主催イベント等を開催している。 【課題】 直虎を軸として広域観光を進める場合には、家康公も含め広域的な観光施策を検討する必要がある。	・遠州灘御前崎県立自然公園に指定されている横地城跡や、家康公とゆかりのある史跡等があり、地元管理団体が主催イベント等を開催している。	・直虎等の歴史遺産を目的として県西部を訪れた方が、西部の自治体を横断的に見て回れるような観光ルートの研究 ・交流人口の増加を、地域の賑わい創出や地域産業の活性化につなげる仕組みの研究	
牧之原市	歴史遺産の偏り。例えば、井伊家ゆかりのものはほとんどなく、今川家や徳川家に関する文化財が比較的ある。ただし、それらも恒常的に公開できるものは少ない。これらをどのようなテーマで繋ぎ、整備・公開するかが課題である。	関連史跡・文化財の看板整備・ガイドブックの作成中（英語・中国語など外国語にも対応する）。 市内の歴史的建造物や古民家を使用したフィルムコミッション。	遠州全体の歴史を総括したストーリーの創出とそれに基く周遊コース・観光コースの整備（例：戦国時代の遠州、今川氏の遠州侵攻、井伊氏の家臣たちなど）。 各地を巡回可能な大河ドラマ展示または展示品の一部借用。	
森町	3年に1度森の石松の「石松まつり」を実施。（他の年は石松供養祭） 3箇所の神社において国指定文化財の舞楽を実施し、毎年補助金を支出している。 文化財建造物の保護・保存のため所有者・行政ともに多額の経費が必要となること。	遠州の小京都としての基本構想を示し、これに係る文化財の公開や整備を徐々に進めている。 武田・徳川の攻防による諸城の案内看板等を整備し、広く一般に公開し、地元保存会の協力を得ている。 遠州の小京都としての町並みの活用を支援している。 国指定重要文化財「友田家住宅」の保存・整備への助成及びその周辺の自然環境の維持 町所有の文化財建造物（土蔵）を整備し、文化財に指定した（旧江間家土蔵）。 海外観光客向けに、遠州の小京都のパンフレット（英語、中国語）を作成 戦国夢街道ハイキングコースの整備	大河ドラマ「おんな城主直虎」の時代における遠州地方の関連関係の洗い出し（遠州念劇の舞台、天宮神社、天方城、飯田城等ゆかりの古城など） 遠江国府・一宮を中心とした遠江国内の歴史的・文化的の中核都市としての位置づけ（遠州の小京都たる由縁） 戦国期における城郭遺構の調査と保存活用	

※この他、今年度、天竜浜名湖線市町会議（浜松市、掛川市、袋井市、湖西市、森町等で構成。）において、大河ドラマ「おんな城主直虎」に関する車両ラッピングや駅舎装飾を計画。